

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------|--|-----|---------|-----|---------|----------------|----|------|
| 科目名 | スノーボード実習 A | | | | | | | 年度 | 2024 |
| 英語科目名 | Snowboard A | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | スポーツトレナー科 1年次 | | 必／選 | 選※ | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ |
| 担当教員 | 志鷹 | | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | スノーボードインストラクター | | |

【科目の目的】

冬の代表的なスノースポーツの一つであるスノーボード実習を行なう経験から基礎的技術や指導方法・安全対策などを身に付け、そして冬山における自然環境の厳しさ、マナーや事故防止についての知識や行動を実際の体験から習得する事を目的とします。

【科目の概要】

レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッジ検定を実施します。

【到達目標】

- A スノーボードを安全に行う方法を身につける
- B 各自のレベルに応じた基本技能を身につけバッジテスト合格を目指す
- C 団体で行動する能力を身につける

【授業の注意点】

講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。スキーゲレンチ中は必ずキャップ、ゴーグル等を着用して下さい。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

評価基準=ループリック

| ループリック 評価 | レベル3 優れている | レベル2 ふつう | レベル1 もう少し |
|--------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 到達目標 A | スノーボードを安全に 楽しく行なうことができる | スノーボードを安全に 行なうことが出来る | スノーボードを行うこ とができる |
| 到達目標 B | 自分が把握するレベル 以上のバッジテストに 合格 | 自分のレベルに応じた バッジテストに合格 | 問題なく合格できるレ ベルのバッジテストに 合格 |
| 到達目標 C | 団体でも積極性を持っ て行動することができる | 団体でも責任感をもつ て行動することができる | 団体でも行動する事が できる |

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

実技試験

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | スノーボード実習 | | | 年度 | 2024 |
|------|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|---------------------------------------|----|--------------|
| 英語表記 | | Snowboard A | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | | 評価方法 自己評価 |
| 1 | オリエンテーション | スノーボードとは何か | 1 スノーボード | スノーボードについて理解している | 2 | |
| | | | 2 バッジテストについて | バッジテストは何かを理解している | | |
| | | | | | | |
| 2 | スノーボードの特性 | スノーボードのルールとマナー | 1 ルール | スノーボードのルールを理解している | 2 | |
| | | | 2 マナー | スノーボードのマナーを理解している | | |
| | | | | | | |
| 3 | スノーボードの対象 | 人間と自然の関係とは | 1 人間の理解 | スノーボードを安全に実施するためにからだとこころについて理解している | 2 | |
| | | | 2 自然の理解 | スノーボードを行うため自然環境について理解している | | |
| | | | | | | |
| 4 | スノーボードの安全 | 安全で健康なスノーボードを | 1 安全管理 | スノーボードにおける安全の考え方を理解している | 2 | |
| | | | 2 事故や怪我 | 予防対策や病気や怪我について理解している | | |
| | | | | | | |
| 5 | スノーボードの器材 | 器材の取り扱い | 1 チェック | 安全に滑るための器材取り扱いについて理解している | 2 | |
| | | | 2 取り扱い | | | |
| | | | | | | |
| 6 | スノーボードの技能① (緩斜面) | 安全に斜面を下りる技術① (緩斜面) | 1 サイドスリップ～ストップ(トウサイド) | 安全なスピードで滑り、自分の意思で停止することができる | 2 | |
| | | | 2 フリーラン | スピードを制御しながら移動・停止を安全にすることができる | | |
| | | | | | | |
| 7 | スノーボードの技能② (緩斜面) | 安全に斜面を下りる技術② (緩斜面) | 1 サイドスリップ～ストップ(ヒールサイド) | 安全なスピードで滑り、自分の意思で停止することができる | 2 | |
| | | | 2 フリーラン | スピードを制御しながら移動・停止を安全にすることができる | | |
| | | | | | | |
| 8 | スノーボードの技能③ (ゆるい斜面・緩斜面) | フォールラインへの対応技術① (ゆるい斜面・緩斜面) | 1 ストレートランニング～ストップ(トウサイド) | フォールラインへ向かって真っすぐ滑り、安全に停止することができる | 2 | |
| | | | 2 フリーラン | 安全なサイドの入替をおこないターンを連続させ、停止できる | | |
| | | | | | | |
| 9 | スノーボードの技能④ (ゆるい斜面・緩斜面) | フォールラインへの対応技術② (ゆるい斜面・緩斜面) | 1 ストレートランニング～ストップ(ヒールサイド) | フォールラインへ向かって真っすぐ滑り、安全に停止することができる | 2 | |
| | | | 2 フリーラン | 安全なサイドの入替をおこないターンを連続させ、停止できる | | |
| | | | | | | |
| 10 | スノーボードの技能⑤ (緩斜面) | リズムを制御する技術 (緩斜面) | 1 スリップtoスリップ | 同じリズムでサイドの入替を連続しておこなうことができる | 2 | |
| | | | 2 ミドルターン | 落差と横幅を整えて、一定のリズムでミドルターンをすることができる | | |
| | | | 3 フリーラン | 意図的に滑走のリズムを変化させることができる | | |
| 11 | スノーボードの技能⑥ (緩中斜面) | スノーボードを自在に動かす技術 | 1 ミドルターン | 滑走のリズムを一定に保ち、滑らかなターン弧を描くことができる | 2 | |
| | | | 2 ショートターン | | | |
| | | | 3 フリーラン | スノーボードを自分の意思で自由自在に動かすことができる | | |
| 12 | スノーボードの技能⑦ (中斜面) | マテリアルの特性を活かす技術 | 1 ミドルターン | 一定のリズムを保ち、滑らかな連続ターンを早いスピードの中で行うことができる | 2 | |
| | | | 2 ショートターン | 小さなターンスペースで減速要素の少ない連続ターンをおこなうことができる | | |
| | | | 3 フリーラン | マテリアルの性能を理解し、それを十分に引き出した滑走を行うことができる | | |
| 13 | 振返り | 各レベルに応じた技術① | 1 各技術の復習 | 各自のレベルに応じた滑走技術を反復することができる | 2 | |
| | | | 2 総合練習 | 各自のレベルに応じた滑走技術を状況に応じて行うことができる | | |
| | | | | | | |
| 14 | 振返り | 各レベルに応じた技術② | 1 各技術の復習 | 各自のレベルに応じた滑走技術を反復することができる | 2 | |
| | | | 2 総合練習 | 各自のレベルに応じた滑走技術を状況に応じて行うことができる | | |
| | | | | | | |
| 15 | まとめ | 総合滑走 | 1 技術の確認 | 各自のレベルに応じたバッジテストを選択することができる | 2 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等